令和8年度　　9月

あんぜんだより

社会福祉法人
明の守福祉会

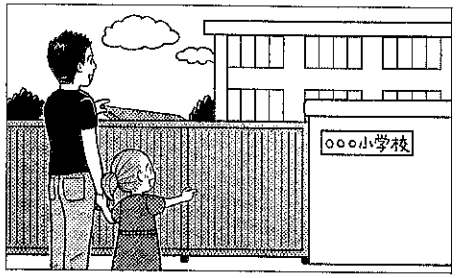
台風は１年間を通して発生しますが、最も発生数が多くなるのが８月です。その一方で、日本に上陸する台風の数は、９月の方が多くなる傾向にあります。日頃から防災対策をしっかり準備し、台風が来た時には、早めの適切な行動を心がけて、安全に過ごしましょう。

台風シーズン到来！ 安全に過ごすための備えをしましょう

たいふうが　やって　きた　ときには　どう　すれば　よいのかな

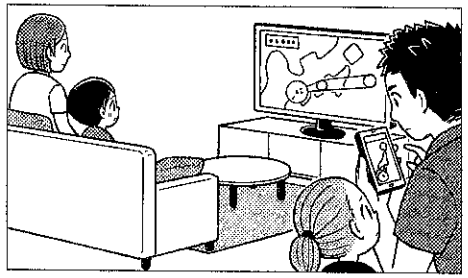
ひごろからの　じゅんび

おうちの　ひとと　いっしょに
ひなんぶくろを　かくにん。

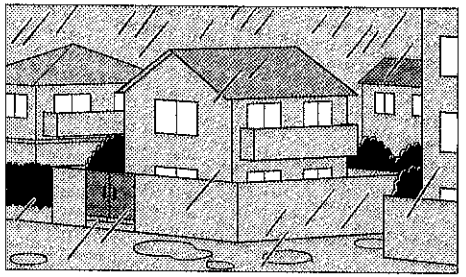


ひなんじょの　ばしょを
かくにん　して　おこう。

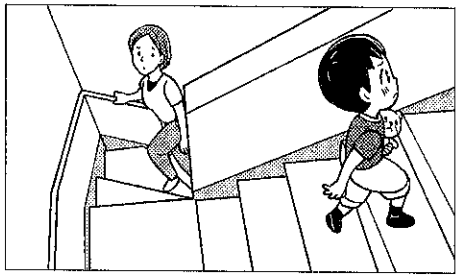
おおあめや　おおかぜの　きけんから　みを　まもる　ためには



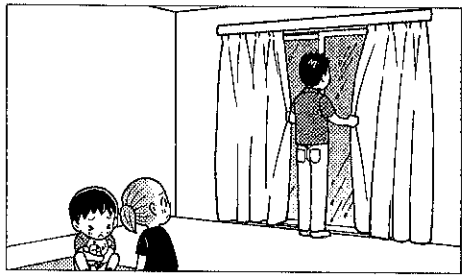
てんきよほうなどを　みて
じょうほうを　あつめよう。



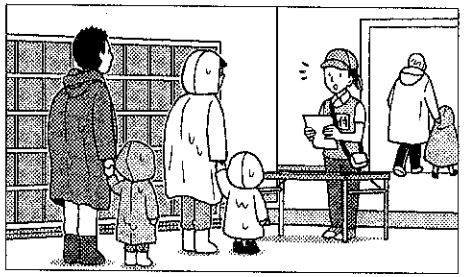
たいふうが　ちかづいたら
いえの　そとへは　でない。



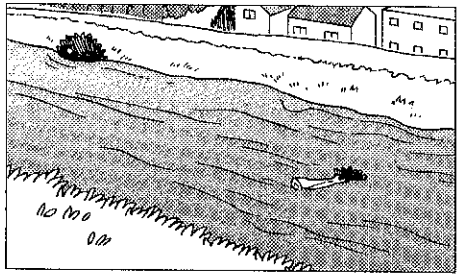
できるだけ　たかい　ところに
ある　へやの　なかで　すごす。



ものが　とんで　くるから
まどの　そばには　いない。



おうちが　あぶない　ときは
はやめに　ひなん　しよう。



たいふうが　とおりすぎても
みずの　そばには　いかない。

保護者の方へ　台風の接近や通過が予想される時は、テレビやラジオなどの天気予報で正確な情報を入手することが大切です。不要不急の外出はやめ、できるだけ高い場所の屋内で過ごしてください。強風による飛来物で窓ガラスが割れる危険がありますので、雨戸やカーテンなどを閉め、窓からは離れてください。台風の接近中、通過中はもちろんですが、完全に通り過ぎて雨が降りやんだとしても、数日の間は急な増水の危険がありますので、川や用水路、貯水池などのそばには近づかないようにしましょう。